

(工学部・工学研究科)  
公益財団法人橋谷奨学会 2016 年度奨学生の募集

2016.3.4

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) インドネシア共和国籍で、2016年4月1日現在、工学部・工学研究科に在籍(研究生含む)の私費外国人留学生(在留資格「留学」)
- 2) インドネシア共和国大使館に来日の報告をしている者
- 3) 財団主催の懇親会(9~10月ごろ東京)に参加できる者
- 4) 奨学金受給終了後も財団と連絡がとれる者
- 5) 他から奨学金の支給を受けない者

2 支給額及び支給期間

月額 10万円

支給期間 支給開始月から、当該在籍課程を卒業・修了するまで(正規の修学年数のみ。但し、年度末毎に継続のための審査あり。)(研究生の場合には、最長1年間)

3 提出書類

- 1) 申請書(所定用紙)
- 2) 履歴・身上書(所定用紙)
- 3) 在学証明書または入学許可証明書
- 4) 成績証明書〔現課程および前課程(写)のもの各1部ずつ〕
- 5) 作文「日本留学にける私の期待と決意」(1000字以内、日本語で本人自筆のもの)
- 6) 写真2枚(5x4cm, うち1枚は申請書に貼付)
- 7) 在留カード(写) 8) 身上調書(所定用紙)
- 9) 家計状況申告書(所定用紙)
- 10) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(所定用紙・厳封)  
\*8)~10)については、2015年10月以降提出済みの場合は不要。
- 11) 推薦書(所定用紙) \* 指導教員が作成のこと  
※11)については、工学研究科から推薦が決まった場合に提出。

4 募集人数

工学部・工学研究科で1名、その後、全学の選考を経て推薦

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係

**\* 大学から推薦することになった場合、応募書類は財団所定の応募用紙に再記入していただきます。**

6 締切日 2016年4月6日(水)

# 公益財団法人 橋 谷 奨 学 会

## 2016年度奨学生募集要項

**趣旨：** 公益財団法人橋谷奨学会は、日本とインドネシア共和国との教育・学術・文化の発展及び相互理解を促進するため、日本の大学等で勉学中のインドネシア共和国籍の留学生に対して援助を行い、もって友好親善の増進に寄与することを目的とした事業を行っています。

2016年度の奨学生募集を次の要領で行います。

次の①～⑥の全てに該当することが必要です。

- ① 専門学校(ただし、1年以上の専門課程とする)、大学または大学院(研究生含む)に在学または入学を許可された私費留学生。
- ② **インドネシア共和国籍**を有し、修学または研究のため **student visa** で来日している者。
- ③ インドネシア共和国大使館に来日の報告をしている者。(領事館のみの届出は不可とします。)
- ④ 日本政府等、他財団から奨学金を受けていない者。
- ⑤ 年1回の「橋谷奨学生文化交流懇親会」に参加できる者。(毎年9～10月頃開催)
- ⑥ 奨学金支給終了後も当会との通信等を継続する意志のある者。

### 2.奨学金支給要件

- ① 2016年度の新規採用奨学生数は、若干名とします。
- ② 奨学金は、月額10万円とします。ただし、応募諸状況を勘案し、正規の奨学金額を変更して採用する場合があります。奨学金は原則として返還する必要はありません。
- ③ 奨学金は、在籍学校を通じて支給します。
- ④ 奨学金の支給期間は、原則として支給開始月から学校を卒業・修了するまでとします。  
ただし、年度末毎の審査に合格しなければ継続支給はされません。(5の③参照)
- ⑤ 次のような場合は奨学金の支給を停止します。
  - ア、勉学または研究の指導担当から、勉学または研究の継続に不適格と認められたとき。  
(留年あるいは、学業成績が著しく不良または長期欠席等のとき)
  - イ、素行不良のとき。
  - ウ、転学をしたとき。
  - エ、当会へ虚偽の申告をしたり、当会の定めに従わなかったとき。

### 3.応募方法

- ① 応募者は次の書類を作成または添付して**在籍学校事務局へ提出**してください。
- ア, 申請書
  - イ, 履歴・身上書
  - ウ, 推薦書
- } 当会所定様式
- エ, 在学証明書または入学許可証明書
  - オ, 成績証明書(現課程または前課程のもの)
  - カ, 住民票または在留カードのコピー(国籍・在留資格・在留期間が明記されているもの)
  - キ, 作文(「日本留学にかける私の期待と決意」をテーマとする1,000字以内、日本語で本人自筆のもの)
  - ク, 写真2枚(上半身近影5×4cm、申請書に1枚貼付のこと)
  - ケ, 健康診断結果(学内で実施した健康診断結果のコピー)
- ※写真と健康診断結果は、半年以内の撮影または受診結果を提出してください。
- ② 学内へ切日は、在学大学・学校にお問い合わせください。  
**(当会への応募へ切日 2016年4月28日必着)**

国際交流係4月6日

### 4.選考

- ① 第一次選考 : 在籍学校の担当教官等が選考を行ってください。  
※当会への推薦は、各学校から、継続推薦を含め2名以内といたします。
- ② 第二次選考 : 当会選考委員会、理事会で行います。  
①により学校から推薦があったときは、当会選考委員会で選考(個別面接を行うこともあります)を行い、理事会において採否を決定します。
- ③ 通 知 : 最終選考結果は、学校を通じて、**6月下旬**までに書面で通知します。

### 5.その他

- ① 応募申込書類は必ず「**大学・学校事務局**」から受け取ってください(大学等に応募書類が到着していない時は、大学等から当会へ請求してください)。第二次選考への**応募は大学・学校事務局経由**としてください。
- ② 第二次選考に応募のあった書類は一切返却しません。
- ③ 奨学金継続受給(進級者のみ)を希望する者は、担当教官等の推薦を受け、推薦書(当会様式)を、学校経由で当会へ提出していただきます。(毎年1月～2月ころ)
- ④ 奨学生は、毎年度末と奨学金支給終了時に、学習報告書(当会様式)を当会事務局へ必ず提出してください。
- ⑤ 申請書に記載された内容及び提出書類はプライバシー保護のため、個人情報として取り扱われます。但し、書類審査及び選考のため、選考委員は閲覧いたしますのでご了承ください。

### 6.問い合わせ先

#### 在学大学・学校 担当窓口

公益財団法人橋谷奨学会  
Hashiya Scholarship Foundation

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西3-17  
TEL 03(3689)1120  
FAX 03(3689)3120  
E-mail: hashiya-scholarship@tsukishima.co.jp

平成 28 年 2 月 25 日

関係大学・学校  
事務ご担当者殿

公益財団法人 橋谷奨学会  
事務局

### 《2016年度》奨学金応募等に関する細目

応募手続については、以下の各事項を参考にいただき、学生へのご指導をお願い致します。

#### 1. 応募資格

インドネシア共和国籍の留学生に限定します。

#### 2. 当会への応募締切

平成28年4月28日（木）までに、当会に到着したものを有効とします。  
学内締切日は、各大学・学校でお決めください。国際交流係締切4月6日

#### 3. 選考

イ. 第一次選考は、ご担当教官・教員に試問をお願い致します。

ロ. 試問事項は以下をご参考に願います。

- a. 勉強に必要な語学力は、充分か。
- b. 選択した学科、研究は適切か。継続し得るか。（新入生は省略）
- c. 選択した学科、研究に対する考えは、妥当か。（新入生のみ）
- d. 応募資格に適合しているか。

ハ. 第一次選考合格として当会にご推薦いただいた場合、当会第二次選考においては前項 a から c までは合格と判断し、選考基準からは除外させていただきます。

#### 4. 履歴・身上書のうち経済状況の記入方法について

イ. 収支は平成28年4月現在で記入のこと。

ロ. 収支は正確に、またバランスを意図的にとらないこと。  
過去に支出超過のため架空の収入を設けて収支差を0としたり、  
収入が多いので架空の支出を計上した例があります。  
(何れも不採用と致しました。)

#### ハ. 科目内容

- a. 仕送り額：母国の父兄等、あるいは在日の親類・知人等から学費生活費を目的として、定期あるいは不定期に支給される金額。
- b. アルバイト等給与：自ら働いて得るアルバイト、その他の給与額。
- c. 奨学金：国、財団その他の団体又は個人から奨学を目的として支給される金額。
- d. 住居費：自らの居住のために支払う家賃、共益費等の金額。
- e. 食費等生活費：食費、光熱費、水道料、衣料費等の自らの生活に要する費用。
- f. 授業料：応募時の学年度の授業料。
- g. その他の学費：授業以外の実験費、研究費、施設設備費、学友会費等で大学・学校又は大学・学校に関連する団体へ納入する費用。
- h. その他の教育費：参考書等の勉学に必要な費用のうち大学・学校団体へ納入する費用。

#### 5. 作文の様式は、A4版縦型、横書きとします。

1行目に課題、2行目学校名、3行目に氏名を書いてください。

#### 6. 健康診断書は、採用内定者のみ提出していただきます。学内で受診された際の健康診断結果でも結構です。

#### 7. 応募書類

書類は、すべて原本でご応募願います。申請書、その他の当会様式をコピーを使用しての応募は受理しませんので、よろしくお願い致します。

尚、応募書類不足の際は、お送り致しますのでご一報ください。

## 年度奨学金受給申請書

公益財団法人 橋谷奨学会

理事長

殿

私は 年度貴会奨学生募集要項の内容をよく理解し、貴奨学生として採用して頂きたく、必要書類を添えて申請致します。

申請書及び添付書類等の記載内容は事実と相違ありません。

年 月 日

申請者 氏名 \_\_\_\_\_  
(自国語名・ローマ字)

署名 \_\_\_\_\_

現住所 \_\_\_\_\_

上記の者の身元は私は引き受け、貴奨学会の趣意に反しないよう指導致します。

在日保証人 (ふりがな) 氏名 \_\_\_\_\_, 年令 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

職 業 \_\_\_\_\_

本人との関係 \_\_\_\_\_

様式(奨)2

履 歴 ・ 身 上 書 (本人自筆のこと)

(1) 年 月 日現在

写 真 (1)  
(5cm×4cm)  
上半身の近影を  
はがれないよう  
に貼付

氏 名	発音 (カタカナ) _____ 自国語表記 (ローマ字又は漢字) _____ 英文表記 (ローマ字) _____ , _____ , _____ First name Family name Middle name (パスポートに記載されている通りに記入すること。)					
	生年月日	年 月 日生 (満 才 月)	性 別	※ 男・女	国 籍	
現住所	フリガナ					
	〒 _____ 方・荘・マンション 電話 ( )					
在 学 校	名称・学部・学科・学年					
	年在学 ( 年 月入学)					
	住所 〒 _____ 電話 ( )					
学 歴	(指導教官・教員)			(研究室・講座名)		
	教育機関の種類	学校名及び所在地(都市名のみ)		正規の修学年数	入学及び卒業年月	専攻科目及学位等
	高 校	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻
	大 学	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻
	大 学 院	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月	専攻 学位
		学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月	
	日本語学校	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月	

職 歴	勤 務 先	所在地(都市名)	勤 務 内 容		勤務期間	
					年 月から	年 月まで
					年 月から	年 月まで
					年 月から	年 月まで
家 族 状 況	氏 名(ローマ字又は漢字)		続 柄	年令	職 業	在日同居
			父			
			母			
			夫又は妻			
母連 国絡 への先	氏名(ローマ字で表記、フリガナをつけること)		年令	職業	本人との関係	
	住所		電話			
住居 状況	種 別	※ 寮、アパート、自己(家族・知人)所有住宅、その他( )				
	形 態	※ 単独、同居( )人 ◎本人は同居人数に含まない。				
	広 さ	居室、 室、1人当たりの専有面積				m <sup>2</sup> 又は 畳

## 記入上の注意

- 黒インク又は黒のボールペンで記入すること。
- 日本語で記入すること。
- 記入は楷書又はローマ字活字体とすること。
- 数字は算用数字を用いること。
- 固有名詞は正確に記入すること。
- 年号はすべて西暦とする。
- ※欄は○で選択すること。
- 日本で一緒に生活している家族がいる時は、家族状況・在日同居欄に○をつけること。
- 経済状況は事実を正確に記入すること。





## 推 薦 書

平成 年 月 日

公益財団法人 橋谷奨学会 理事長 殿

推薦者 学校名

職 名

氏 名

㊟

私は、貴奨学会の奨学生として下記学生を推薦致します。

(学生氏名)	男 ・ 女	(生年月日) 年 月 日	(国籍)
(在学学校名)	大学・大学院 専門学校	研究科 科・学部	課程 学科 年
(推薦理由)			
(人物・学業総合評価)			
〈秀、優、良〉			

注) 秀…90点以上、優…80点以上、良…60点以上

\* 2015年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 私費外国人留学生身上調書

2015.10月現在

### 1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名	指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字 )	既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)	国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了	
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在	
		年 月 ~ 年 月	
		年 月 ~ 年 月	
住居 (○で囲む)	東北大学国際交流会館 仙台第一国際交流会館 県・市営アパート(住所 ) 民間アパート(住所 )	三条ユニバーシティハウス 仙台第二国際交流会館	

### 2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

## 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。(2015年10月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: \_\_\_\_\_

所 属: \_\_\_\_\_ 学科・系 \_\_\_\_\_ 年次・研究生  
\_\_\_\_\_ 専攻・前期 \_\_\_\_\_ 年次・研究生  
\_\_\_\_\_ 後期 \_\_\_\_\_ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

\* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

\_\_\_\_\_

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 \_\_\_\_\_  
官職 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

\* 2015年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

### 家計状況

\* 2014年10月から2015年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 2015年4月入学の方は、2015年4月から2015年9月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収 入		支 出	
自国の家族等からの送金	円	食 費	円
奨学金(本人)	円	家 賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ( )		円
その他	( )		円
( )	円 ( )		円
( )	円 ( )		円
合 計	円	合 計	円

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)		奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	
年 月 ~	年 月	月額・年額	円	

### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成26年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成25年度	後期	全額免除	半額免除	<del>1/3免除</del>	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	<del>1/3免除</del>	申請したが不許可だった